



※HP随時更新しています

# 朝風

教育目標 自立 探究 貢献  
 ~ 志高く 自ら学び 未来を拓く ~

令和3年度  
 学校報No.12  
 令和3年6月16日  
 大仙市立  
 大曲南中学校

## ◇郡総体の壮行会が行われました。

14日(月)、今週末に行われる郡総体の壮行会が行われました。本校からは4種目(野球、卓球、バスケットボール、剣道)に参加します。勝ち抜けば上位大会につながる中学校生活最大で最後の大会です。選手の皆さんは闘志をみなぎらせているようでした。

3年生にとっては最後の大会ということで、1・2年生から3年生に向けて熱いメッセージがありました。野球部は、寸劇と踊りのパフォーマンスで先輩を激励しました。卓球部は、先輩に向けての手紙を読みました。バスケットボール部は全員2年生のため、吹奏楽部がメッセージを送りました。剣道部は、あいうえお作文で唯一の3年生を激励しました。

校長からは次のような激励の言葉を贈りました。



選手紹介(バスケ部)

選手の皆さん、いよいよ郡総体が近づいてきました。去年は新型コロナの影響で、全国大会、県大会が中止となり、郡大会も7月に上位大会の予選という形ではなく、交流大会として行われました。したがって、「本当の勝負」の郡大会は、2年ぶりとなります。今の気持ちはどうでしょうか？緊張していますか？

今年の春季大会は、県大会こそ中止になりましたが、郡大会は無観客ではありましたが行われました。春季大会前にも、生徒会執行部の発案で壮行会が行われました。そのときにも皆さんの前でお話ししましたが、今感じるのは、春季大会の時よりも皆さんがたくましくなっているということです。練習を積んできたことからくるたくましさだと思います。

さて、3年生にとっては最後の大会となります。自分の力を100%発揮できるようにするために、一流プレイヤーが試合前にどんなことを考えているかを紹介します。

### ○元プロテニスプレイヤー松岡修造さんの言葉

「人前で緊張するのは自然な反応です。プレッシャーが人を強くします。逃げ出したくなるような感覚がなくなったら、モチベーションもなくなってしまうような気がします。」

### ○車椅子テニスの第一人者国枝慎吾さんの言葉

「『緊張しないように』と考えるより、『緊張を味方につけよう』と考える方が、実力を発揮しやすくなる。」

試合前に緊張を感じない人はいません。監督の先生方も緊張しています。勝利にとって緊張は必要なものであるといわれています。緊張感を楽しんで試合に臨めば、きっといいパフォーマンスができると思います。

(この部分は話しませんでした)

保護者の皆様、これまでの部活動に対する多大なご協力に感謝申し上げます。新型コロナウイルスの猛威が完全に収まらない中で本大会の実施ということで、感染防止のためこれまで以上のご配慮をお願いすることになります。また、応援等でのご不便もおかけします。選手のベストパフォーマンスのため、ご協力くださるようお願いいたします。

最後に、本校の教育目標と照らし合わせてお話しします。これまでの練習は、勝つための「探究」だったと思います。試合で自分の力を発揮することが「自立」です。そして、勝利に「貢献」してください。健闘を祈ります。

## □大会日程

野球	18日(金)	9時~南外・桧木内中戦、14時~角館中戦(神岡球場)
	19日(土)	9時~決勝(神岡球場)
バスケ	18日(金)	9時~中仙中戦、11時~大曲中戦(美郷中体育館)
	19日(土)	9時~準決勝、11時~決勝
卓球	19日(土)	8時5分~男子個人戦(美郷町総合体育館リリオス)
剣道	18日(金)	10時40分~女子個人戦、男子個人戦(角館中学校体育館)
	19日(土)	10時40分~女子団体戦、男子団体戦(角館中学校体育館)

各部の健闘を祈ります